古墳タイムズ

発行者
四絡小学校 6年山下 主倫
発行日 令和4年8月10日

きっかけ

ぼくは、社会科の授業で二〇一九年ユネスコ世界遺産委員会で世界遺産に登録された大阪府堺市の『百舌鳥・古市古墳群』を構成する古墳の一つ大仙陵古墳を学びました。これは日本最大の古墳で東京ドーム2個分に相当する大きさの前方後円墳型の古墳です。全長は有名なエジプトのクフ王のピラミッドの約2倍と世界最大級の墳墓です。ぼくは時代の権力者の墓である古墳の大きさにおどろきました。又担任の先生からこの古墳が自分の住んでいる出雲地方にもいくつか残っている事を教えられてとても興味を持ちました。この新聞作を通して、古代出雲のねむる古墳について調べていきました。

古墳時代 三〜六世紀

三世紀後半に、近き地方から瀬戸内海沿岸にかけての見晴らしのよい丘に土をもりあげて築いた大きな墓がつくられるようになった。これを古墳という。古墳は、各地の国を支配した王や豪族の墓と考えられます。弥生時代のむらの首長や小さな国の王の墓とちがって、共同墓地からはなれて独立して築かれ、規模が大きく、死者とともに墓に入れられた副葬品も多い。王や豪族と民衆との身分のちがいが大きかったことが分かります。古墳から出土した副葬品には、銅鏡や装身具、武器や工具、農具、はに輪などがあります。古墳は王や地域の有力者の力を誇示するために作られ、生前どのようなくらしをしていたのか知る手がかりになります。

豆知識!

よすみは弥生時代に山陰を中心として流行した墓で、四角の四つの隅が突き出した独特の形が特徴です。よすみの古墳は全国で約百基発見されていますが、その中で大きさのトップ5の内4つが、西谷の丘の西谷墳墓群にあります。

弥生の出雲王に出会える 出雲弥生の森博物館

出雲市大津町にある弥生の森博物館は平成22年4月にオープンしました。弥生時代の終わり約八〇年前から出雲王がねむる西谷墳墓群がある史跡公園のとなりに位置します。王墓の出土品や模型で歴史を感じる事ができます。

古墳見学心得

① 暗いのでかい中電灯を持っていこう。
② 夏は蚊が多いので虫よけスプレーを持参したり、長そでがおすすめ。
③ 壊したり傷つけないように注意しよう。

古墳めぐりマップ こふマップを活ようしよう

(1) 上塩冶築山古墳(円墳)

きらびやかな副葬品が出土し国の重要文化財にもなっている。

(2) 宝塚古墳

丘はけずられ、石室の天井も見ることができる。入口の大きな岩が印象的。草木の生い茂った薄暗い所にある石室の中に、石棺がある。閉ざされた内側はジメジメとしていないが居心地は良くなかったです。

(3) 上塩冶地ぞう古墳

他の古墳より高い場所にあり、中にお地ぞう様がいる。

(4) 今市大念寺古墳(前方後円墳)

横穴式石室の中に日本一大きい石棺が

古代出雲歴史博物館でこの夏企画展「ハニワの世界へようこそ」が開催され見学に行きました。

はに輪は、死者のたましいを守るために並べられたもので、僕が印象に残ったのは、人型や動物型の似ているようで一体一体違う表情です。ユニークだったりかわいらしい顔に、これらは古代の人が楽しい気持ちで心を込めて作ったのではないかと、現代に生きる僕に伝わってくるようでした。

〔感想〕

見学に行ってみて感じたのは、思いの外身近な民家や墓地のすぐ近くの、死者の鎮魂をひたすら願い、そして自然災害や争いなどがおこらないように、生きている人たちの幸せを祈念したと推測する事ができます。

古代出雲 悠久の時を超えて

副葬品に込められた思いは、「よみがえるな!」

古墳には石室の中に死者を入れた棺がおかれた。棺や石室の周溝、墳丘外にまが玉や鉄製の武器、農具工具馬具、アクセサリー、装身具がおさめられていました。玉類は遺体に装着されず、遺体が悪霊化しないように配置された副装品は丁寧に密封されました。

編集後記

僕は小学校最後の思い出に新聞製作をしました。始めは、古墳について何も知らず授業で習いましたがどのように作ったのか謎に思うばかりでした。しかし現代では当たり前に使える電気も機械も高度な技術もない時代に長い時間をかけて作られた古墳から、古代人の粘り強さとたくましさを感じ、副葬品に込められた平和への願いも現代に生きる僕たちと同じだと思ったので、新聞製作によって自分達の住む出雲地方の古墳をより身近に感じて大切に守り続けなければいけないと思うようになりました。僕も古代から続く平和への願いを受けつぎ、力強く生きたいです。

参考文献
・中学歴史の発展的学習
・西谷墳墓群史跡ガイド
・こふマップ